

令和4年度学校関係者評価

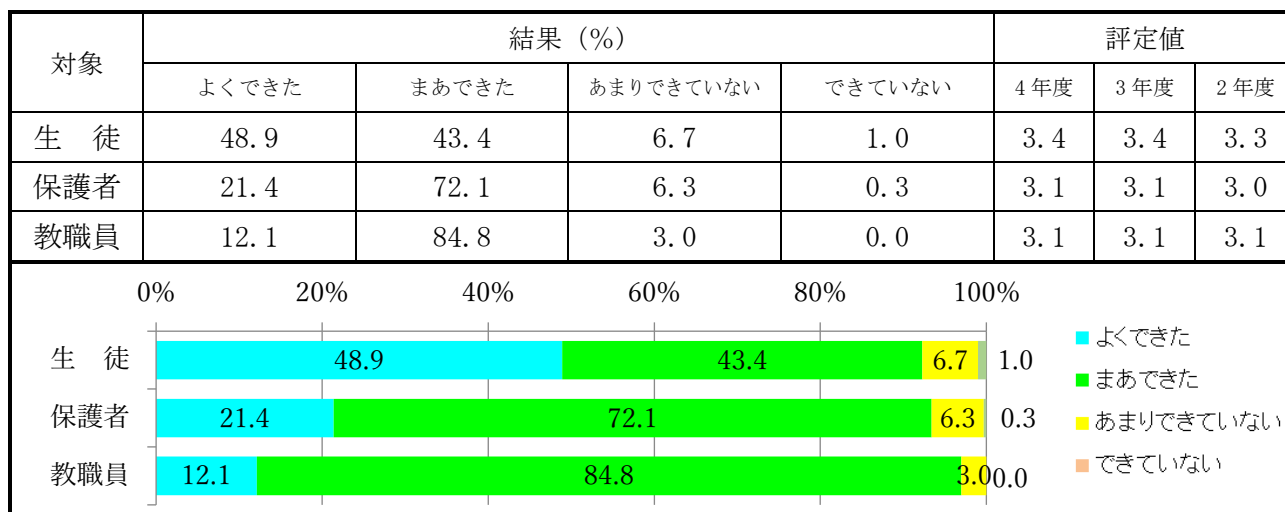
1 学校関係者評価の構成員

学校運営協議会委員（学校評議員）6名、校長、教頭、主幹教諭、生徒指導主事

2 学校の教育目標の達成状況（概要）

(1) 教育目標 「自分らしさを発揮し、よりよく生きる生徒の育成」

(2) 達成状況



3 主な取組の課題と改善

(1) 「自分の考えや意見を持ち、授業や行事の中で積極的に話合いや発表ができる」が本校の課題である。SNSの普及・発達に伴うコミュニケーション力の低下が見られ、自分の考えや思いを人に伝えることに恥ずかしさや抵抗感を感じる生徒が増加している。全教科において意図的に話し合ったり表現したりする場を設定するとともに、聴く側の姿勢や態度の指導及び表現の仕方に関する支援を進めていきたい。

(2) 学力の二極化や学習習慣の確立に課題が見られる。少人数指導やTTによる授業、放課後学習相談等による個に応じた指導・支援、ICT機器を有効活用した「分かる授業」「楽しい授業」の実践等を継続的に行い、学力の向上と学習習慣の定着を図りたい。また、生徒の学習状況における保護者の不安やニーズに対して、学校と家庭が連携を取り、丁寧な関わりを進めていきたい。

4 その他—学校運営協議会委員（学校評議員）による意見及び提案—

(1) 生徒について

- ・ 不登校の生徒が一人で家にいるケースはあるのか。家庭での様子について気になるというご意見をいただいた。学級担任や不登校対策支援員など、多くの教職員で所在や生活の様子を確認していることを報告した。今後も学校と家庭が連絡を密に取り、生徒、保護者との信頼関係を築いていくことを確認した。
- ・ 交通マナーについては気になることがある。特に下校時に横に広がって歩いたり、自

転車が並進していたりする場面を見掛ける。真部病院近くの交差点の交通量が多く危険であること、細い道から自転車が飛び出てくることがあるなど、今後も継続して指導をしていくことを確認した。登校時に小学生と中学生が接触しないように、バイパスの歩道に白線を引いたことなど、小中で連携して取り組んだ内容を報告した。

- ・ 「自己表現できる生徒が少ない」「自分の意思を持っている生徒が少ない」と感じる。職場体験などの体験活動が重要になると思う。生徒の意欲や意思を大切に、進路指導につなげてほしい。

(2) 生徒指導について

- ・ 2年連続で名札について要望が出ている。クリップ式の名札への移行について保護者へのアンケート調査等を行い、その結果を見て検討していった方がよいのではないか。
- ・ 生徒の荷物（学習道具）が重すぎる。電子化も徐々に進んではいるが、一つ一つの教科書や教材の重量について、改善できることはないか、検討してほしい。全ての学習道具を持ち帰らせるわけではなく、技能教科等で使用する教科書や教材は学校に置いて帰ってもよいことにしていることを確認した。

(3) その他

- ・ 授業を参観し、先生方の熱心な姿が見られた。また、より分かりやすい授業づくりに努めている様子が見られた。生徒の成長のために、教師がよい距離感で生徒と関わっているように感じた。タブレットや電子黒板をどの先生も使用しており、時代の変化を感じた。今後も生徒のために、更により良い授業を行ってほしい。
- ・ 「基礎」と「基本」の違いをしっかりと理解した上で学習指導をしなければならない。
- ・ 今の先生方は大変だと思う。授業の準備や生徒との関わり、部活動等、いつも時間に追われ、ゆとりがないのではないか。先生方の負担軽減になる取組はないのか。残業なしの日を設定するなどの取組を行った方がよいと思う。